株式会社大気社

大和インベスター・リレーションズ株式会社主催
個人投資家向け会社説明会

2024年2月27日　東証プライム（証券コード：1979）

当社ウェブサイト

当社決算説明会
書き起こし

株式会社 大気社

目 次

INDEX

1. 当社事業の紹介 P.03

2. 当社の特長 P.09

3. 成長戦略・環境貢献・投資計画 P.13

4. 業績 P.19

5. 株主還元 P.24

6. 参考資料 P.28

Copyright 2024 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

株式会社 大気社

代表者
長田　雅士
（代表取締役社長執行役員）

創業
1913年
（創業110年）

事業内容
以下の諸設備・装置の設計・施工

ビル空調　産業空調　塗装システム

※ セグメント区分：ビル空調および産業空調は環境システム事業に区分

連結年間売上高
2,147億円
（2023年3月期実績）

従業員数
個別1,665名／連結4,970名
（2023年9月末現在）

連結子会社
32社
（国内4社／海外28社）
（2023年9月末現在）

株式
東証プライム市場
（コード:1979、業種：建設）

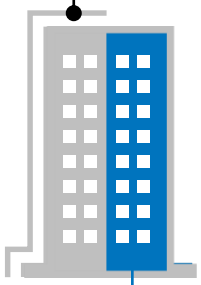
自己資本比率
53.1%
（2023年3月期実績）

建物に命を吹き込む空調設備

ゼネコン
建物の「皮膚」や「骨格」に相当する、外壁・躯体・内装を建築

サブコン
建物の「内臓」や「血管」に相当する、下記のような設備を手掛ける

- 空調設備
- 衛生設備
- 電気設備
- 消防設備

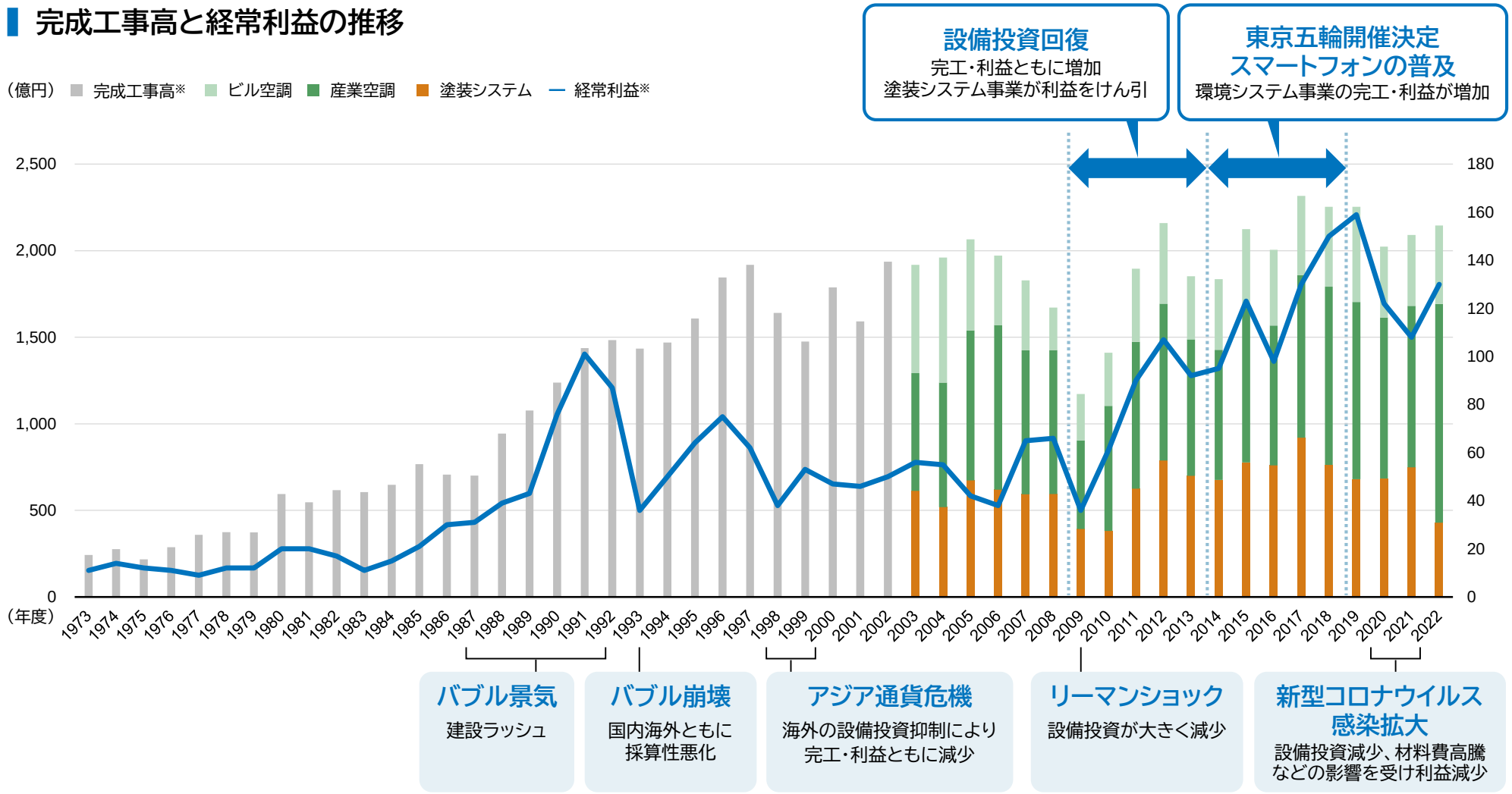


Copyright 2024 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

大気社

市場環境の影響を一定程度受けるものの、当社の技術力を武器に設備投資の拡大の波に乗り、利益水準は上昇を継続

完成工事高と経常利益の推移

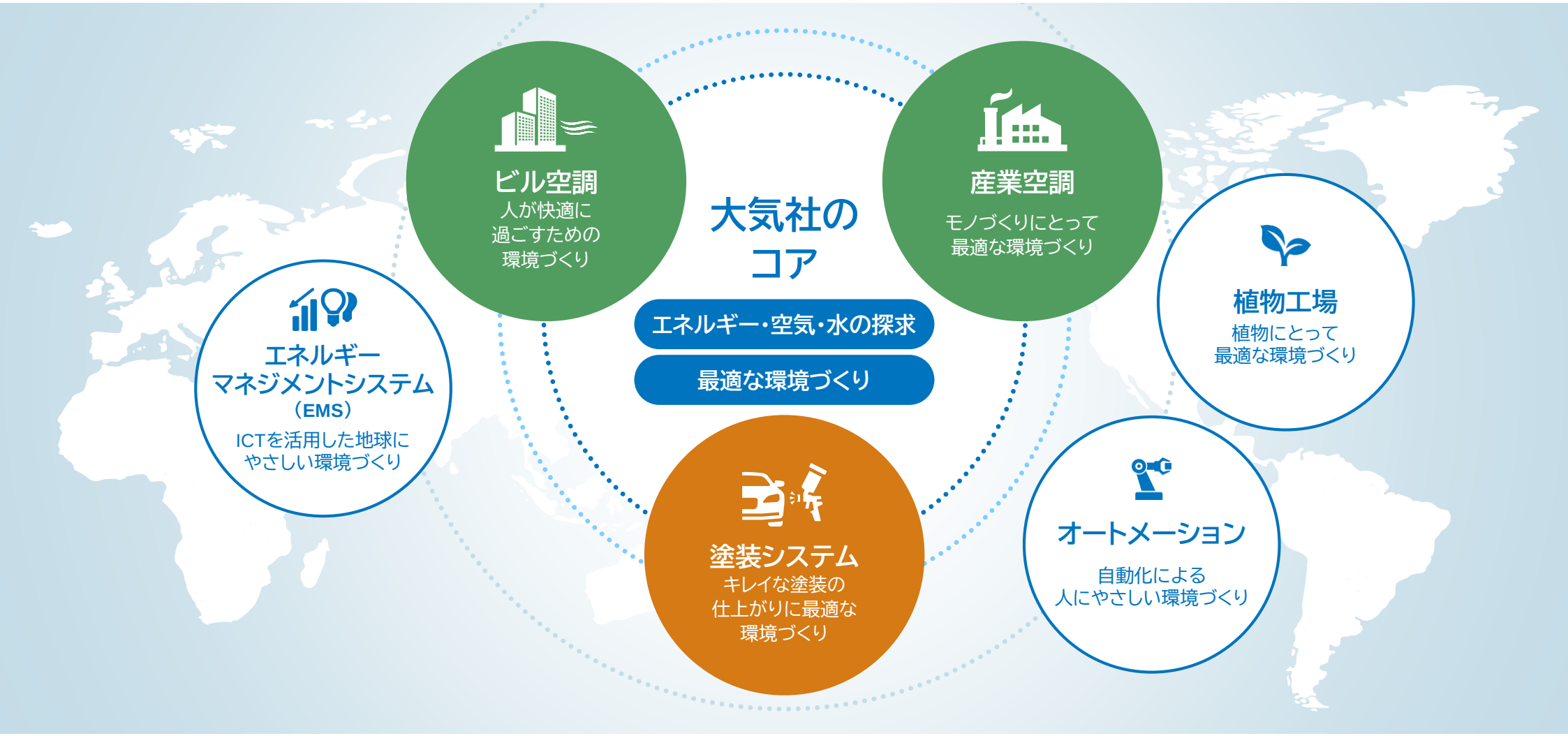


※ 1974年3月期～1993年3月期は単体完成工事高・経常利益、1994年3月期～2003年3月期はセグメント区分前の連結完成工事高

Copyright 2024 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

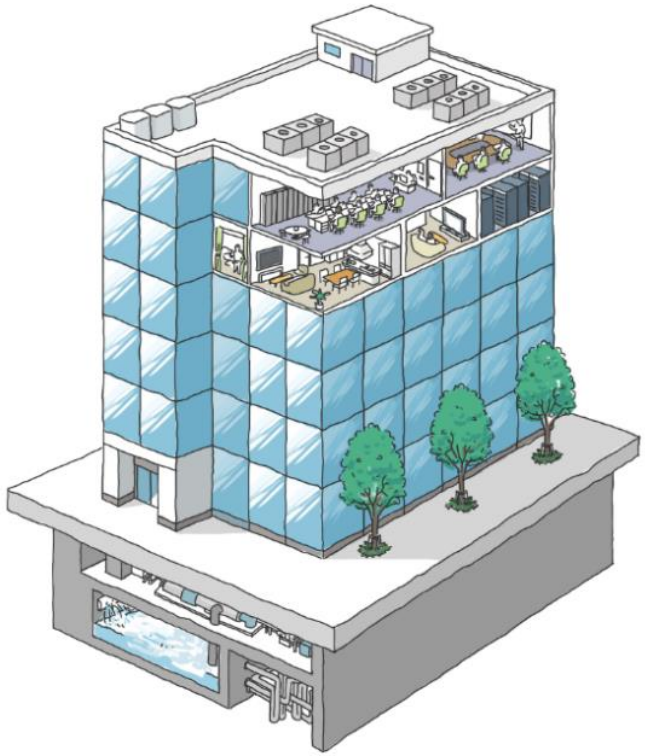
大気社

創業以来110年にわたり培ってきた技術と グローバルネットワークを生かし、フィールドを拡大



Copyright 2024 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

ビル空調設備では、
人が快適に過ごすための空調設備の設計、施工を実施



対象

オフィスビル、学校、病院、ホテル、美術館、空港ターミナルなど、さまざまな施設

競合他社

空調設備会社や一部の電気設備会社

今後の見通し

都心の再開発計画など、建設需要は底堅く推移

業界における立ち位置

新築オフィスビル建設の場合（一例）

施主
（不動産会社等）

ゼネコン
（建築）

サブコン

空調設備
大気社

電気設備　衛生設備

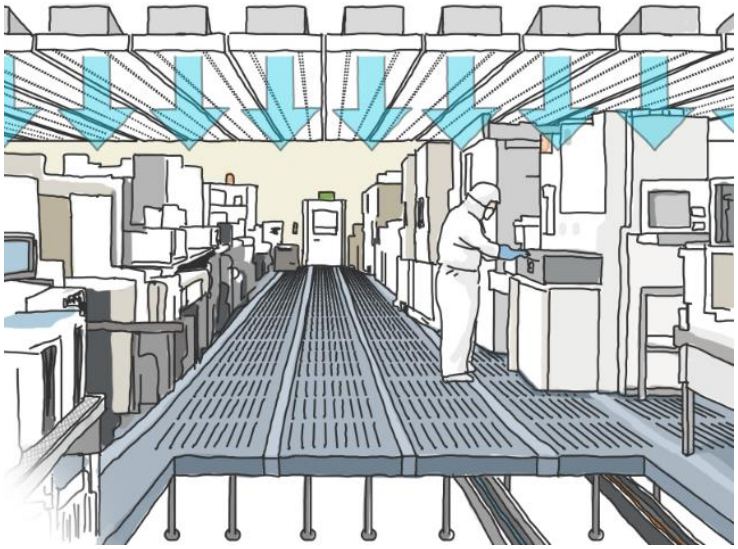
協力会社

メーカー
材料・資機材、機器類

工事業者
配管・ダクト・計装

Copyright 2024 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

クリーンルームなど“モノづくり”にとって最適な空調設備の設計、施工を実施。電気・電子部品、医薬品分野に注力



対象

- 電気・電子部品、医薬品など、製造過程で高い清浄環境が求められる生産工場や研究施設の空調設備
- 生産装置に必要なユーティリティ設備（冷却水・圧縮空気・排気等）、排気処理装置などの環境保護装置

競合他社

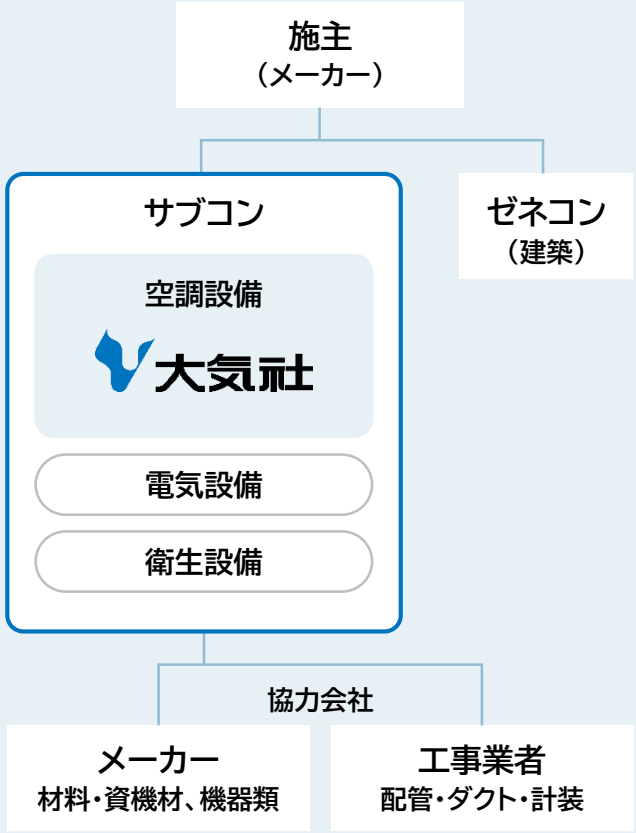
空調設備会社

今後の見通し

半導体関連メーカーや医薬品メーカーにおいて、引き続き**積極的な設備投資の見込み**

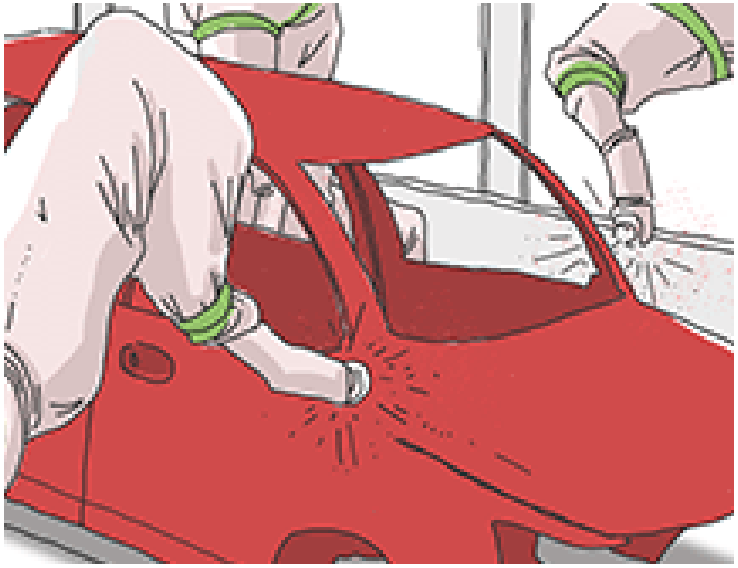
業界における立ち位置

電気・電子部品メーカーの新工場建設の場合（一例）



Copyright 2024 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

塗装システムでは、
自動車メーカーをはじめ様々な塗装工場の設計、施工を実施



実績

省エネルギーや環境対応に関する高い技術を有する当社は、売上高において**国内第1位、世界第2位**を誇る

競合他社

- 独大手エンジニアリング会社
- その他ローカル企業など

今後の見通し

自動車メーカーにおいて、北米・日本などで**設備更新投資**、中国・インドなどで**増産投資**の見込み

なぜ塗装？

美しい塗装の仕上がりには、ブース内の空気に、ほこりや塵が無い**クリーンな状態**であることが必要不可欠なため、当社の**産業空調の技術**が生かされている

業界における立ち位置

自動車メーカーの新塗装工場建設の場合（一例）

施主
（国内外メーカー）

大気社

協力会社

- 建築業者（工場の建屋の建設）
- メーカー（ロボット、輸送コンベア、その他機器類、材料・資機材）
- 工事業者（資機材・製作物の据付・施工）

Copyright 2024 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

大気社

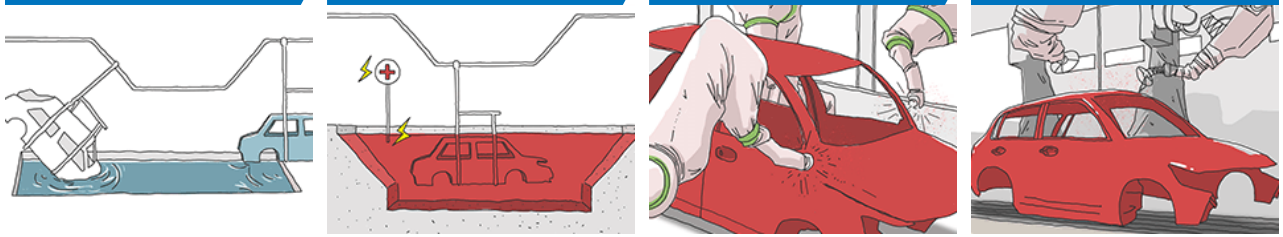
塗装工場の建設について、自動車生産工場からの一括受注が可能なため トータルエンジニアリング会社としての優位性を持つことが可能

自動車生産工場の全体像

プレス工場 → 溶接工場 → **塗装工場** → 組立工場 → モータープール

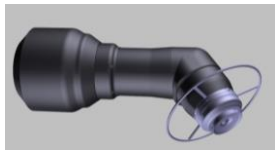
塗装工程

前処理 → 電着塗装 → 中塗り → 上塗り



※ 塗装工程の細かな流れや塗装ブースの仕組みは、
P.23「当社の自動車塗装の特長❷」に記載

塗装ブースに設置する機器・装置類



Copyright 2024 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

大気社

高度な技術力を要する産業空調分野・塗装システム分野は参入障壁が高く、模倣・追随が困難

顧客ニーズ

産業空調分野

電気・電子部品メーカー

ハイレベルな清浄度や、超精密な温度制御など、最先端の製造環境が必要

医薬品メーカー

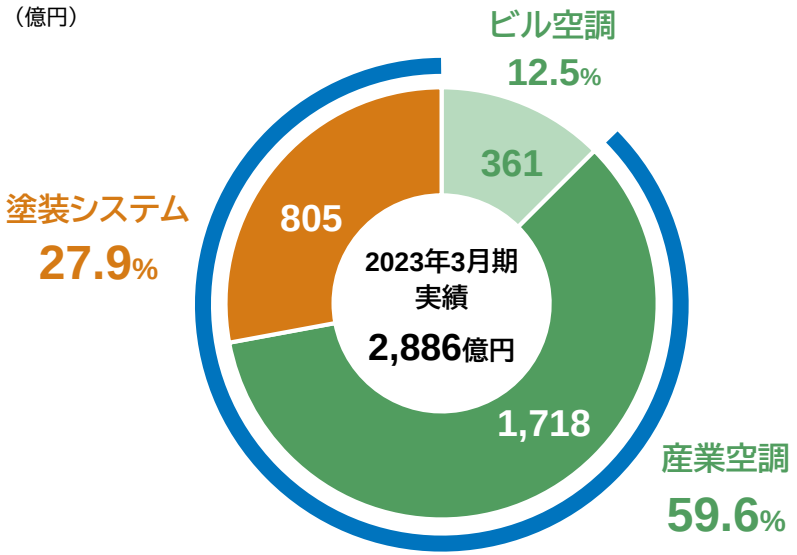
プロセスごとに存在する多数の製造室への対応や高度な室圧制御技術が必要

塗装システム分野

自動車の生産性を考慮したトータルエンジニアリングや、メーカーのCO_2削減ニーズに応える環境対応技術が必要

受注工事高内訳

（億円）



高度な技術が求められる同分野の顧客ニーズに応え続け、高い受注比率を維持

Copyright 2024 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

大気社

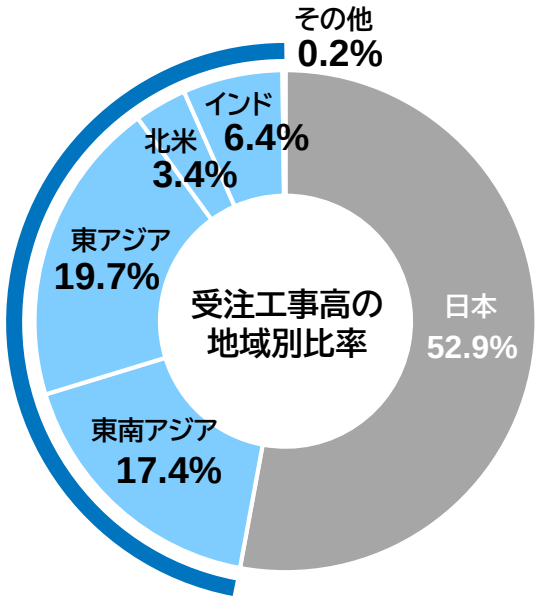
現地に拠点を有することによる充実した顧客サポート体制と現地化の推進によるコスト競争力が強み

18カ国に
28の海外連結子会社

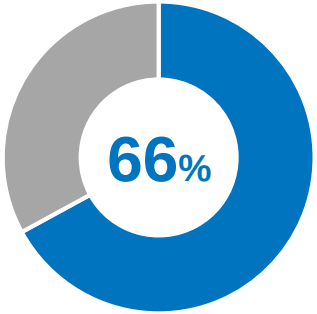
（2023年9月末現在）

受注工事高の海外比率・地域別比率

2023年3月期
海外受注高比率
47.1%



連結従業員数に占めるナショナルスタッフ比率
（2023年9月末現在）



Copyright 2024 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

大気社

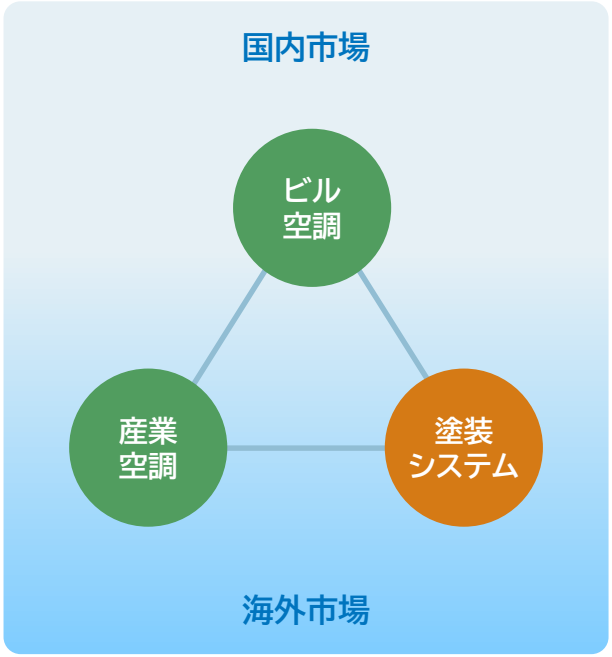
1974年の東証上場以降、経常赤字に陥ることはなく、市場環境の変化に対する高い柔軟性がある

少ない固定費負担

受注や売上が景気の影響を受けやすい事業である反面、設備投資を必要とせず、減価償却費などの固定費負担が少ない

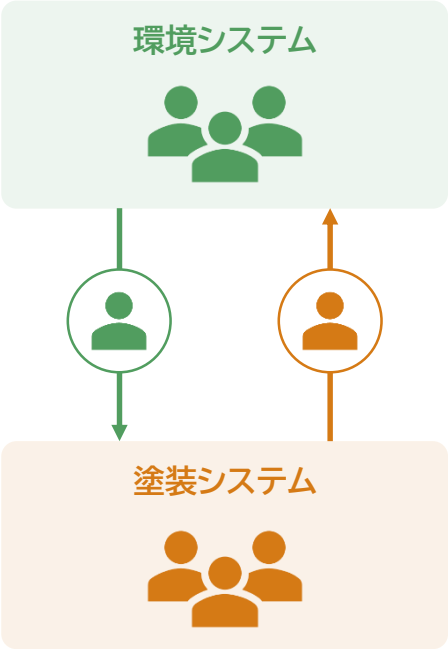
各事業でのリスク分散

市場が異なる3つの事業分野を持っており、国内外の幅広い国に展開。好調な市場分野での補填も可能



人員のフレキシブルな異動

事業分野間でベースとなる技術は共通性が高いことから、需要の変化に合わせて人員体制のフレキシブルな組み替えが可能



Copyright 2024 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

大気社

環境システム事業

産業空調で培った空調技術を生かし、植物工場事業を推進

概要

LEDを使用し、土を使わず培養液による水耕栽培を行うシステム。栽培エリア内の温度ムラを解消することで、均一な品質の野菜栽培を実現。また、当社の技術を活用し、大株野菜、低生菌野菜の量産が可能。

事業内容

- 事業計画からアフターメンテナンスまで技術を提供する設備の納入
- 生産した品種の直接販売（安定生産が可能）

事業展開

2021年にプラント建設から、野菜の生産・販売まで一貫したソリューションを提供する100%出資の子会社「株式会社ベジ・ファクトリー」を設立

Vege-Factory

今後の見通し

外食産業やコンビニ向けなど業務用ニーズで需要拡大

ニーズのポイント

- 収穫量と価格の安定
- 無農薬栽培による食の安全・安心
- 低生菌野菜による消費期限の延長

生産可能な品種

- 結球レタス
- サンチュ
- ロメインレタス
- サニーレタス
- フリルレタス
- サラダ用水菜
- グリーンリーフ　など

Copyright 2024 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

大気社

塗装システム事業

塗装および研磨の自動化システムなど、自動車塗装で培った技術・ノウハウをもとに、**自動車以外の分野の領域拡大**を目指す。

航空機塗装

建設機械のフレーム塗装

市場の現状

航空機・鉄道車両はともに、数年毎に塗装を剥がし整備後再塗装する必要があるが、現在は**手作業が主流**

今後の見通し

技術者減少や労働安全衛生の観点からニーズがあると同時に、**航空機や鉄道車両の数自体も増加の見込み**

その他の分野

建材市場、一般工業製品など塗装・研磨が必要な分野は多岐に渡り、事業領域を拡大

実績の一例

- 自動販売機の塗装
- 大理石の研磨
- 鏡面加工　　など

Copyright 2024 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

大気社

中期経営計画で掲げた非財務目標に加えて、2023年4月25日にTCFD提言に基づく気候関連情報の開示を行った

非財務目標　事業活動に伴うCO_2排出量（スコープ1・2）　⇒　2030年までに46%削減（2015年度実績比）

TCFD提言に基づく気候関連情報の開示

ガバナンス

業務執行取締役の報酬体系について非財務指標を一定割合導入し、気候変動に対する活動の強化を後押しする方向で見直し

戦略／リスク管理

- 2035年において当社への影響度が高いリスクと機会を洗い出し
- リスクマネジメント委員会を設置し、気候変動を含む重大なリスクの低減と顕在化するリスクの最小化に努める

重要なリスク・機会	想定される対応策
炭素税	• GHG削減目標の設定 • 低炭素技術・システム開発 • 再生可能エネルギー業界への参入
顧客行動の変化 省エネ・再エネ技術の普及	• エネルギー循環システムの構築 • 塗装技術の改善・習得・商品開発推進 • CO_2回収・循環技術等の開発
平均気温の上昇	• 植物工場事業の多角展開 • 施工における機械化・自動化の推進 • 労働環境の整備・熱中症対策の推進

指標と目標

CO_2排出量について事業ごとに2050年・2030年の目標を設定

	環境システム事業	塗装システム事業
2050年 削減目標	CO_2排出量80%削減※ （2013年度比）	将来のエネルギー変革を加味した技術で、自動車1台あたりCO_2排出量を実質ゼロ化
2030年 マイルストーン	CO_2排出量25%削減※ （2013年度比）	現状の塗装工程の熱源構成のまま、自動車のCO_2排出量を60kg-CO_2/台まで削減
2022年度 取り組み （実績）	建築物のライフサイクルを通じて、使用エネルギーを抑制するシステムを提案し、優れた「低炭素化」「環境負荷低減」技術を提供	塗装ラインのエネルギー試算モデルを活用し、設備の高効率化・小型化を図り、再生可能エネルギーや低温排熱改修システム等を導入

※ 当社の設計施工による設備の運用段階における削減目標

Copyright 2024 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

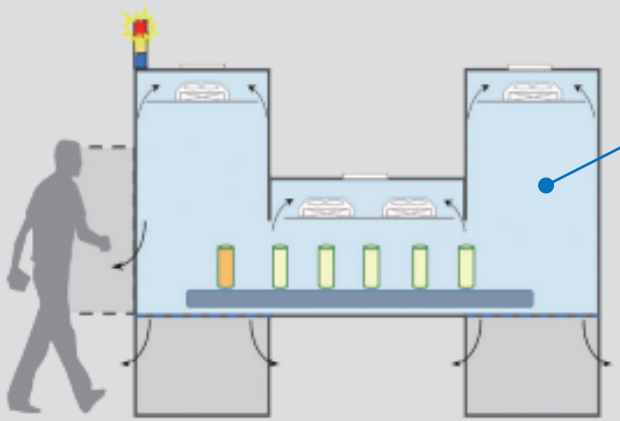
大気社

環境システム事業

空調設備のミニエンバイロメント化により、工場の省エネ化を進める

リチウムイオン電池製造における例

リチウムイオン電池組立工程（イメージ）



必要最小限のエリアのみを超低湿度化

自動車のEVシフトで期待が高まる「全固体電池」の製造にも応用

ミニエンバイロメント化とは？

半導体など精密機器の製造工程で使用されるクリーンルームは、高いレベルの清浄環境と温湿度管理が要求され、消費エネルギーが大きい。当社では工場全体を制御するのではなく、必要な部分を局所的にクリーン化・環境制御する方法を通じて、工場の省エネ化を図っている。

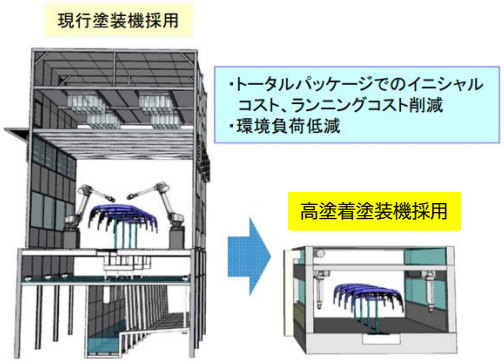
その他、ICTを活用したエネルギーマネジメント技術やCO_2を排出しない設備など多岐に渡る顧客の課題解決を通じ、脱炭素化を目指す

Copyright 2024 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

大気社

塗装システム事業

高塗着塗装機採用によるブース小型化・給排気最小化



空気中の塗料散布を抑えた
高塗着効率（90%以上）自動塗装システムを開発

**塗料を捕集する装置をミニマム化し、
設備の小型化・省エネルギー化を実現**

ウェット塗装からドライ加飾への生産技術革新

車体ボディにフィルムを貼るなど、従来のスプレー塗装
（ウェット塗装）に代わる塗装方式（ドライ加飾）を開発中

**膨大なエネルギーを使用するスプレー塗装の工程が
無くなることで、大幅なCO_2削減を実現**

様々な技術を通じてカーボンニュートラル達成を目指す
同時に様々な事業分野に応用・進出を検討中

Copyright 2024 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

大気社

2023年3月期は、合計39億円実施

	2024年3月期上期までの主な実施内容	2023年3月期 実績	2024年3月期 計画	2025年3月期 計画
事業関連投資	• インドの連結子会社 Nicomac Taikisha Clean Rooms Private Limitedへの出資比率引き上げ	25億円	160億円	
設備・人材投資	• BIMを始めとする現場DX運用検証費用（構築中） • グローバルな基幹業務システムの構築費用（構築中）	6億円		
技術開発投資	• 本社にR&Dサテライト設置 • 新技術開発センター計画中（2024年5月完成予定） • ドライ加飾技術の開発実施中、国内R&D施設に実証ラインを設置予定。	7億円		

中期経営計画期間　3か年合計

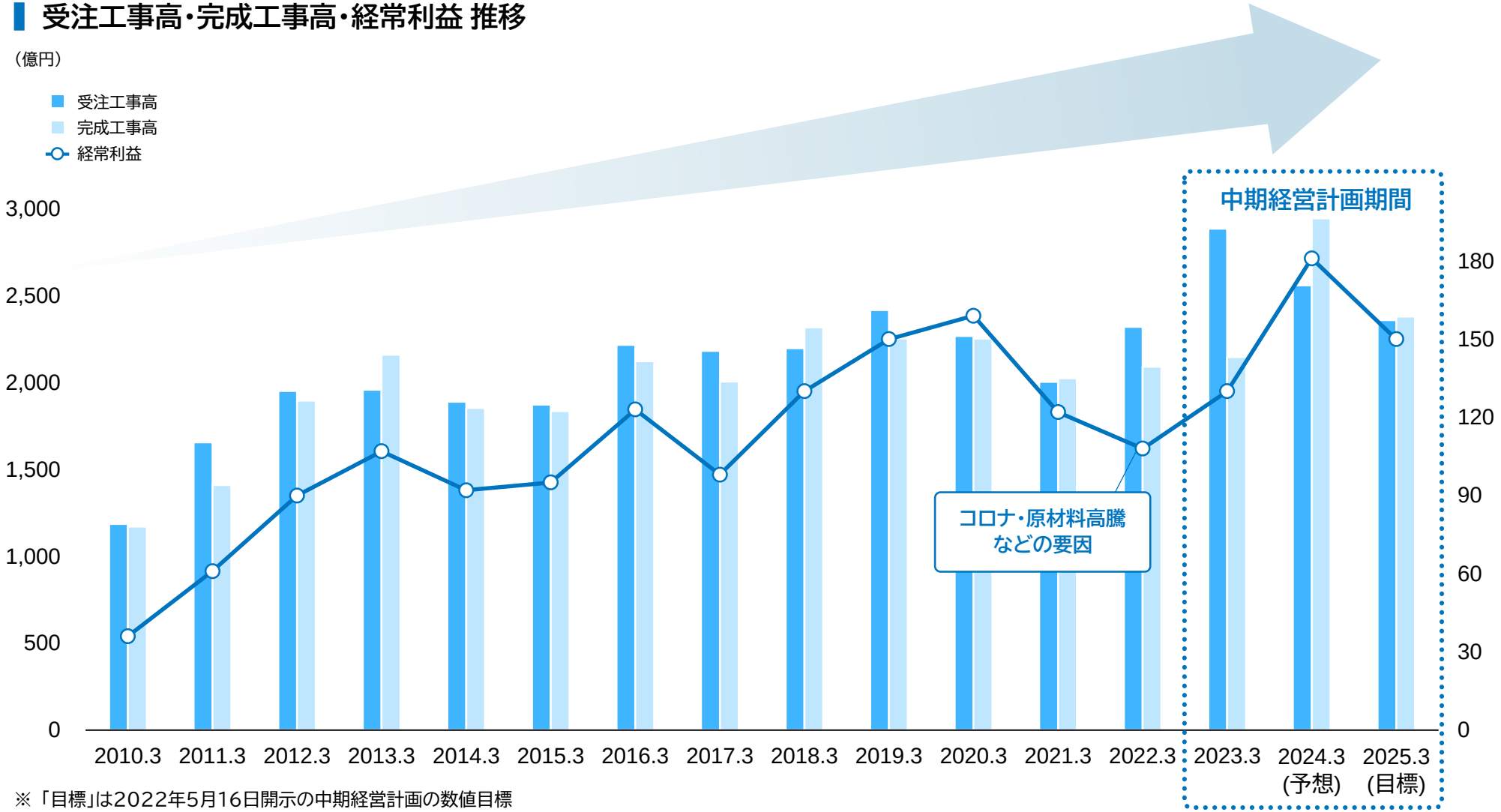
200億円

Copyright 2024 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

大気社

2023年3月期、受注工事高は過去最高。完成工事高・経常利益は堅調に推移

受注工事高・完成工事高・経常利益 推移



※「目標」は2022年5月16日開示の中期経営計画の数値目標

Copyright 2024 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

大気社

売上と利益において第3四半期累計で過去最高を達成

市場環境（国内）

半導体関連や自動車メーカーによる投資が継続しており、都市圏における一般ビルの建設需要も堅調に推移した。

市場環境（海外）

世界経済の減速懸念はあるものの、各メーカーによる設備投資は堅調に推移した。

受注工事高	完成工事高	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
1,853億円	2,052億円	132億円	102億円
前年同期比 -17.9%	前年同期比 +44.6%	前年同期比 +55.4%	前年期同期比 +101.2%

Copyright 2024 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

2024年3月期通期業績予想の修正

大気社

受注工事高は、環境システム事業、塗装システム事業ともに想定以上の受注を確保できる見通しであることから、前回予想を上回る見込みです。

完成工事高および利益につきましては、2024年2月13日に開示した「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、全ての項目で前回予想を上回る見込みです。

（億円）	2024年3月期 新予想 通期	2024年3月期 前回予想※ 通期	予想比差異 通期
受注工事高	2,560	2,255	305
完成工事高	2,945	2,850	95
営業利益	165	145	20
経常利益	181	155	26
親会社株主に帰属する当期純利益	133	105	28

※ 第2四半期決算時に修正

Copyright 2024 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

2024年3月期 業績予想 事業別 受注工事高

大気社

（億円）	2023年3月期 実績 上期	3Q	4Q	下期	通期	2024年3月期 予想 上期実績	3Q実績	4Q	下期※	通期※
受注工事高合計	1,620	637	628	1,266	2,886	**1,271**	**581**	**706**	**1,288**	**2,560**
うち国内	1,050	293	183	476	1,527	**702**	**358**	**366**	**724**	**1,427**
うち海外	569	344	445	789	1,359	**569**	**223**	**339**	**563**	**1,133**
環境システム事業	1,266	414	400	814	2,080	**733**	**432**	**503**	**936**	**1,670**
ビル空調	195	114	51	166	361	**177**	**63**	**89**	**152**	**330**
産業空調	1,070	299	348	648	1,718	**556**	**369**	**413**	**783**	**1,340**
塗装システム事業	354	223	228	451	805	**537**	**148**	**203**	**352**	**890**

※ 第3四半期決算時に修正

Copyright 2024 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

2024年3月期 業績予想 事業別 完成工事高・経常利益

大気社

（億円）	2023年3月期 実績 上期	3Q	4Q	下期	通期	2024年3月期 予想 上期実績	3Q実績	4Q	下期※	通期※
完成工事高合計	857	561	728	1,290	2,147	**1,304**	**748**	**892**	**1,640**	**2,945**
うち国内	539	352	450	802	1,342	**814**	**414**	**333**	**748**	**1,563**
うち海外	318	209	277	487	805	**489**	**333**	**558**	**892**	**1,382**
環境システム事業	675	465	577	1,042	1,718	**1,039**	**550**	**580**	**1,130**	**2,170**
ビル空調	175	127	150	278	453	**206**	**105**	**92**	**198**	**405**
産業空調	500	338	426	764	1,264	**832**	**444**	**487**	**932**	**1,765**
塗装システム事業	182	96	150	247	429	**264**	**198**	**311**	**510**	**775**
経常利益合計	46	39	44	83	130	**81**	**51**	**48**	**99**	**181**
経常利益率	5.4%	6.9%	6.1%	6.5%	6.1%	**6.2%**	**6.9%**	**5.4%**	**6.1%**	**6.1%**
環境システム事業	53	38	54	92	145	**75**	**44**	**39**	**84**	**160**
経常利益率	7.9%	8.3%	9.4%	8.9%	8.5%	**7.3%**	**8.1%**	**6.8%**	**7.4%**	**7.4%**
塗装システム事業	-10	-2	-3	-5	-16	**0**	**7**	**13**	**21**	**22**
経常利益率	-5.7%	-2.2%	-2.3%	-2.3%	-3.7%	**0.2%**	**4.0%**	**4.3%**	**4.2%**	**2.8%**

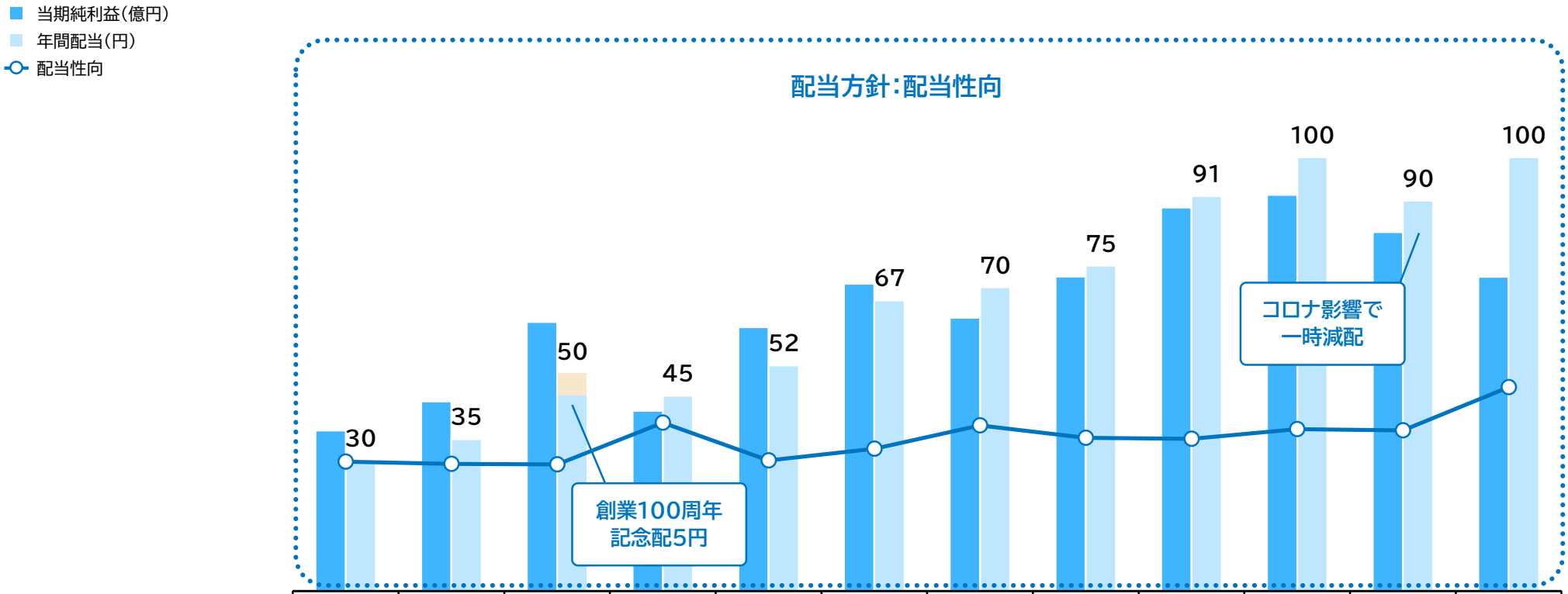
※ 第3四半期決算時に修正

Copyright 2024 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

大気社

配当性向を基準に増配基調を継続

配当・配当性向 推移



	2011.3	2012.3	2013.3	2014.3	2015.3	2016.3	2017.3	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3
当期純利益(億円)	37.0	43.7	62.0	41.5	60.8	70.8	63.0	72.5	88.4	91.3	82.7	72.4
年間配当(円)	30	35	50	45	52	67	70	75	91	100	90	100
配当性向(%)	29.8	29.3	29.2	38.8	30.1	32.8	38.2	35.3	35.1	37.3	37.0	47.0

Copyright 2024 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

大気社

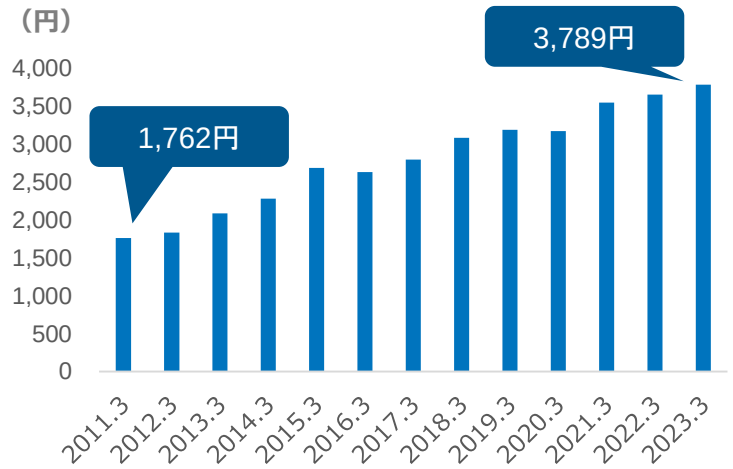
連結自己資本配当率 (DOE) 3.2%を目指し、安定的な配当を実施

DOE基準による配当とは？　配当額＝連結自己資本(期中平均)× DOE(3.2%)

当社の事業特性とDOEの親和性

- 自己資本が厚い(2023年3月期自己資本比率53.1%)
- 上場以来経常赤字が無く、直近の利益成長(P16:業績推移参照)も見込まれており、自己資本の積み上がり期待(配当は右図の自己資本が原資となる)
- 市場環境の変化を一定程度受けるため、利益に連動した配当性向よりも、配当の安定性が増す

1株当たり純資産(自己資本)の推移



中期経営計画期間(2023年3月期から2025年3月期の3か年)は、前期の年間配当金121円よりスタートし、今期127円、来期133円と増配を予定

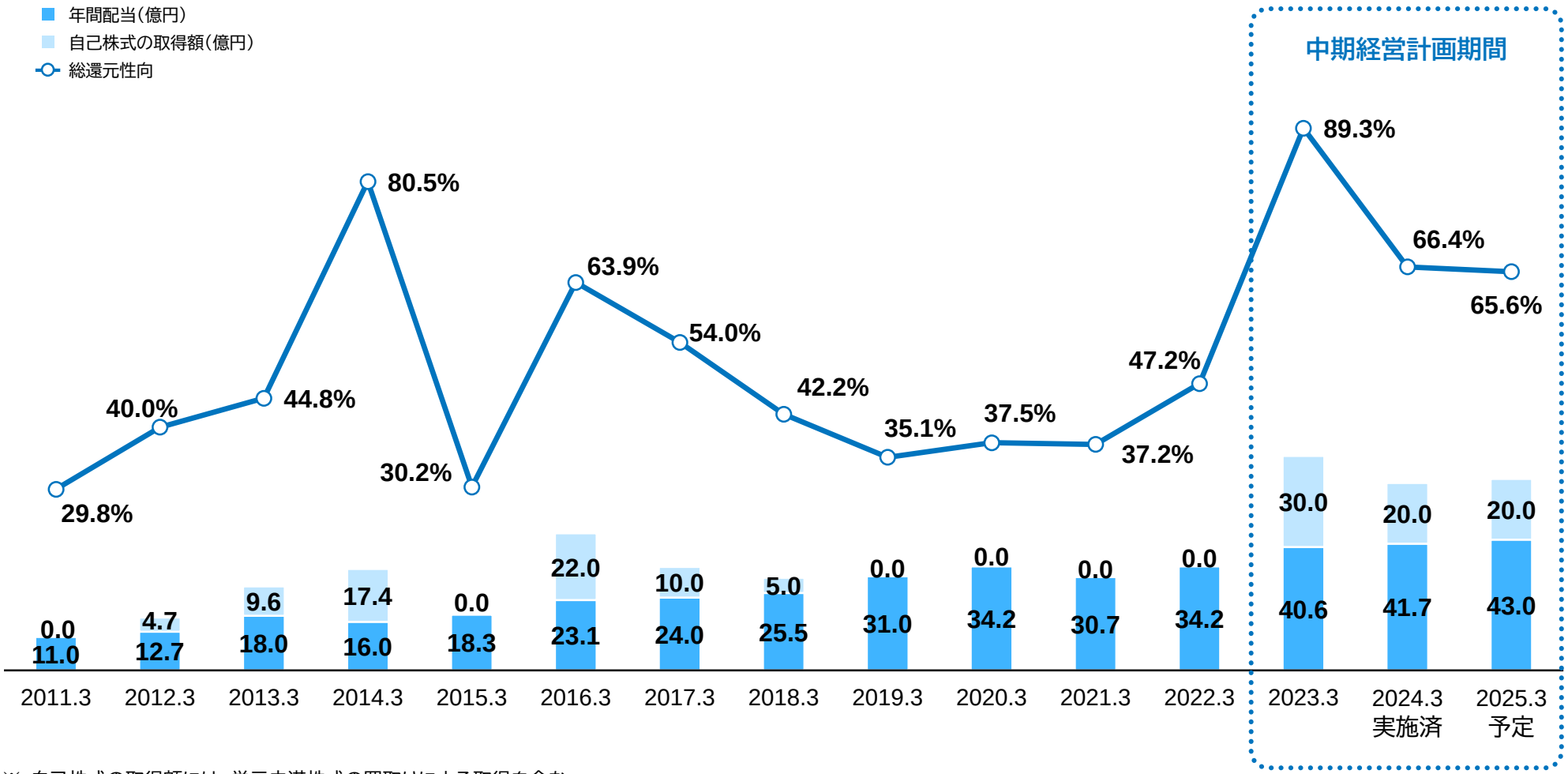
Copyright 2024 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

大気社

配当と自己株式取得を合わせて、高い水準を維持

【自己株式取得の方針】 資本効率の向上と機動的な財務政策の実現を目的として、自己株式の取得を年間20億円を目途に実施予定（今期20億円実施済）

株主還元額・総還元性向 推移



※ 自己株式の取得額には、単元未満株式の買取りによる取得を含む

Copyright 2024 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

大気社

事業の安定性・成長性

- ✓ 歴史ある会社、安定した成長を継続
- ✓ リスク分散が効いており、上場以来、経常赤字無し
- ✓ 自己資本比率53.1%健全な財務体質

株主還元

- ✓ 自己資本の一定比率を配当する仕組みであるDOE導入による、高水準かつ安定的な配当
- ✓ 自己株式取得で株価の上昇期待

Copyright 2024 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

大気社

創業から事業内容拡大やグローバル展開を進め、今期で110周年を迎える

1913年
（大正2年）
「合資会社建材社」創業
暖房設備、エレベータ、建築材料等のドイツからの輸入、およびその据付を主な業務とする。

1918年
（大正7年）
建築設備事業を本格的に開始
高度な設計・施工能力を持つ暖房設備会社として認められるようになる。（ビル空調分野進出の契機）

1934年頃
（昭和9年）
「繊維の時代」を支える
紡績工場の空調への取り組みを強化し、業績を急拡大させた。
（産業空調分野進出の契機）

1953年
（昭和28年）
自動車の塗装設備事業に進出
日産自動車の塗装室を受注。
（塗装システム分野進出の契機）

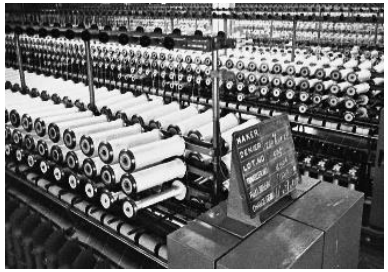
1971年
（昭和46年）
タイに初めて海外子会社を設立
タイの拠点を皮切りに世界各地に拠点を設立。

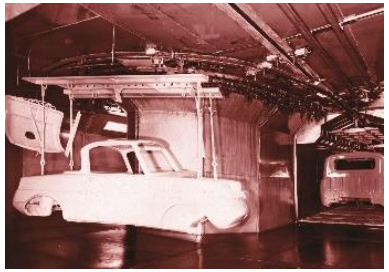
1973年
（昭和48年）
創立60周年を機に、社名を『株式会社大気社』に変更
大気に働きかけ、きれいな空気を取り戻そうという企業姿勢を表す。

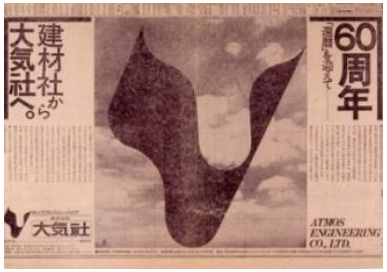
2023年（令和5年）
現在は、3つの事業分野を柱に据え、今年で創立110周年を迎えた

本社前での記念撮影

東京海上ビル


東洋ナイロン社工場（韓国）


東洋工業（現・マツダ）F工場



社名変更の際の新聞広告

Copyright 2024 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

大気社

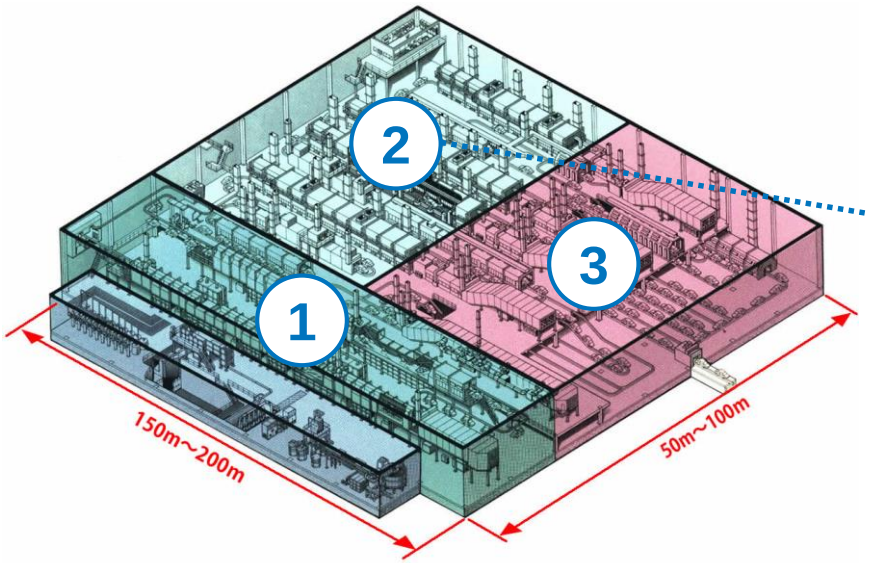
業績に連動し株価も成長。
2010年以降は設備投資の拡大を取り込み、TOPIXに対してアウトパフォーム

Copyright 2024 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

大気社

自動車の塗装工程では空調制御と乾燥工程に多くのエネルギーを要するため
省エネルギーと環境負荷低減を追求した技術が必要

工程の流れ

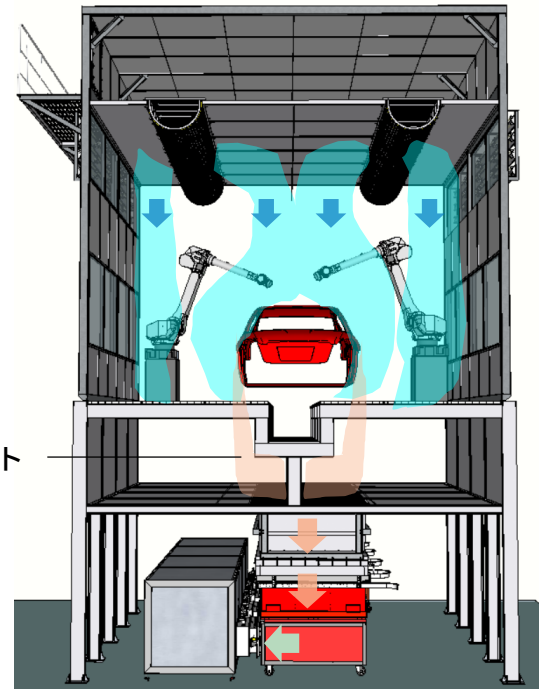


1 前処理・電着塗装ゾーン → 2 塗装ブースゾーン ⇄ 3 乾燥オーブンゾーン

塗装ブースの仕組み

- クリーンな環境で、ボディへの埃の付着防止
- 最適な温湿度を保ち、塗装品質を確保
- 気流の流れにより、塗料ミストを除去

塗装ブース(断面図)
※当社商品 i-Lavb(少風量ブース)の例

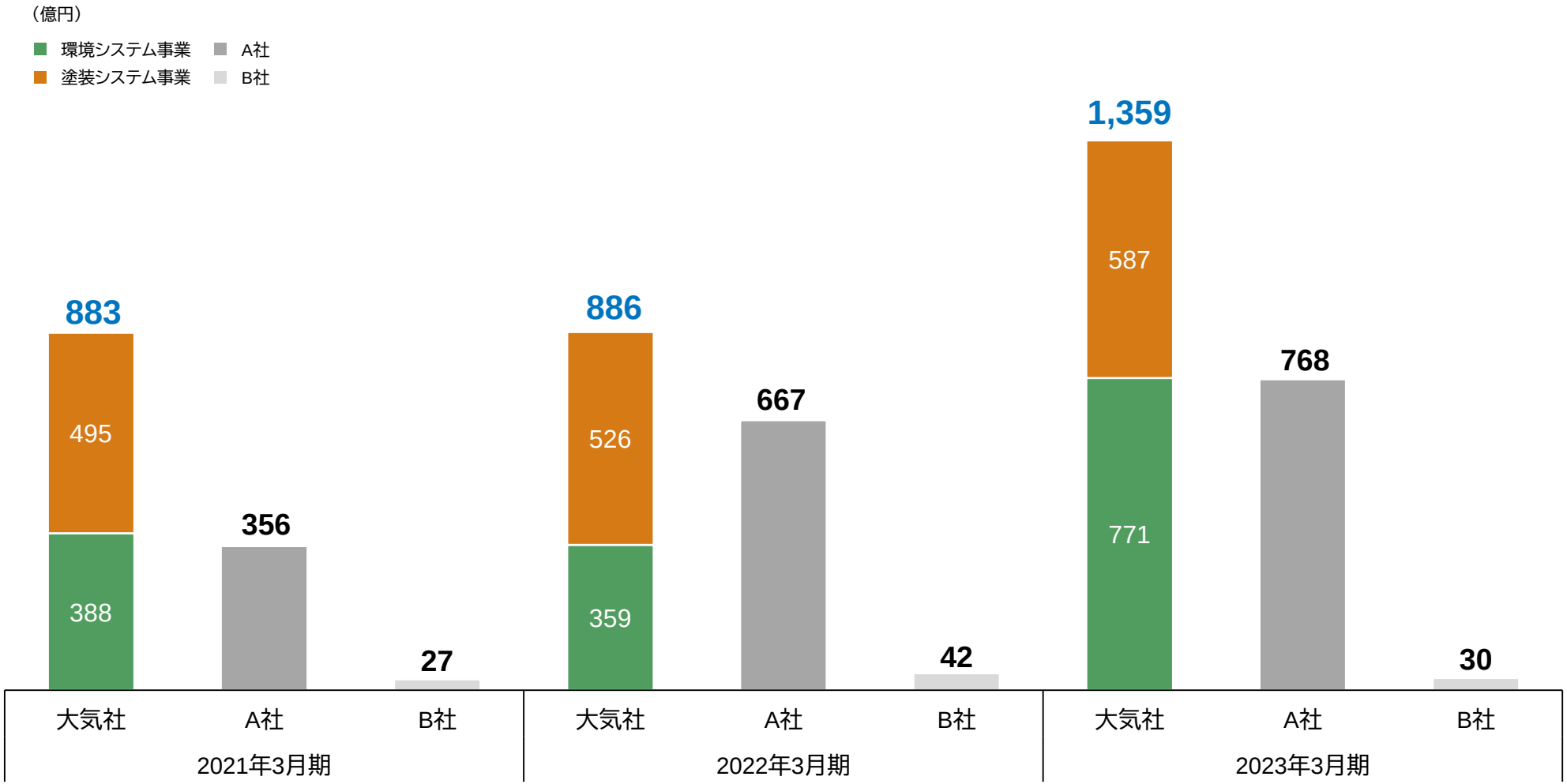


Copyright 2024 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

大気社

海外進出を他社に先んじたために、
海外受注工事高は、同業他社に比べ高水準

海外受注工事高



Copyright 2024 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

大気社

将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関するお問合せ先

株式会社大気社　経営企画本部　経営企画部　IR課

TEL：03-5338-5052　FAX：03-5338-5195

Copyright 2024 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.